

# くまそう

vol. 30 26.  
05.

spring season

Kumagaya  
General  
Hospital  
News Letter

## CONTENTS

診療科紹介 IBDセンター 新任常勤医 紹介

委員会紹介 看護部教育委員会

初期研修医 紹介

くまそうTOPICS



IBDセンター 消化器内科  
内科部長

石川 武志 先生



## IBD（炎症性腸疾患）センター設立に関して

IBD(炎症性腸疾患)の患者数は全世界で急激に増え続けています。  
当院では、これらの疾患に対応する為、2021年2月にIBD専門外来を開始。  
2023年5月に医師・看護師・薬剤師・栄養士・MSW等の医療スタッフがIBDチームを結成。  
患者さんの症状や状態、生活環境に合わせた適切な医療・情報を提供できる体制を構築しました。  
そして、2026年1月に、IBDセンターを設立し、多職種で横断的な総合診療の提供を目指し、  
更なるパワーアップをしました。

どんな病気を  
診るの？

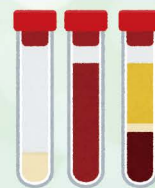
## IBD（炎症性腸疾患）とは

IBDは、主に潰瘍性大腸炎とクローン病という病気を指します。  
これらの病気は慢性的に下痢や腹痛、下血などをきたす原因不明の難治性疾患です。  
好発年齢は、中学生から20歳前後ですが、  
最近では50～80歳の青年～高齢で発症する患者さんも増えています。  
再燃・寛解を繰り返し、長期間の治療が必要な指定難病です。  
日本での罹患者は、合わせて1000人に2～3人です。  
若年発症が多く、就学、就労、結婚、妊娠・出産などの  
ライフイベントにも配慮が求められます。

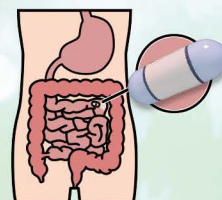


## 疾患に対する検査・治療

血液検査、便検査、内視鏡やレントゲン、CTなどを組み合わせて行います。  
当院では、バルーン小腸内視鏡、小腸カプセル内視鏡、CTコロノグラフィも施行しています。  
治療は、保険適応内の下記治療ならびに治験などの先進治療を行っています。



- 5-アミノサリチル酸(ASA)製剤 (サラゾピリン®、ペンタサ®、アサコール®、リアルダ®)
- 副腎皮質ステロイド (プレドニゾロン®、コレチメント®、レクタブル®)
- 免疫調節薬 (イムラン®)
- 抗TNF-α抗体 (レミケード®、ヒュミラ®、シンボニー®)
- インテグリン製剤 (カログラ®、エンタイビオ®)
- 抗IL製剤 (ステラーラ®、オンボー®、スキリーズ®、トテムフィア®)
- JAK阻害剤 (ゼルヤンツ®、ジセシカ®、リンヴォック®)
- 抗S1P製剤 (ゼポジア®、ベルスピティ®)
- 栄養療法 (エレンタール®)
- 血球成分除去療法 (アダカラム®)
- 新薬の治験



## IBD チームスタッフ

患者さんを中心にして、個々の患者が少しでも笑顔に過ごせる様にと、  
“IBD患者の笑顔の人生・Smile Lifeの為に”をチームのコンセプトに、  
多職種でサポートできる体制を整えました。

### 消化器内科医師

患者の病状把握・治療・検査全般の選択 / 評価  
・メンバーの教育・指導等を行います。

### 看護師

外来看護師と  
内視鏡看護師の2名体制です。  
検査・治療のみならず、  
日常生活の悩みや相談の  
窓口・相談役になります。



患者さん、ご家族

### 薬剤師

それぞれのお薬の特徴や使い方を  
説明したり、注意点を説明します。  
また、正しく服用されているか？  
副作用が起こっていないか？  
など常にチェックしてくれています。

### 管理栄養士

患者背景や性格までも考慮し、  
患者さんに添った効果的な  
食事療法を提案します。



### 医療ソーシャルワーカー / 連携室

公的サービスに関する相談や手続を説明したり、  
就学 / 就労等で困っている事・悩んでいる事  
に関する相談窓口になります。

現在では 当院では250名を超えるIBD患者をフォローしています。  
分子標的治療薬の出現で、劇的な治療の進歩が見られています。  
早期の適切な治療により、患者さんの予後・日常生活が大きく改善される時代となっています。  
異なる専門職が連携して、信頼・安心の医療サービスが提供できるIBDセンターであり続けることが、  
私をはじめスタッフ共通の願いです  
患者さまが安心して通院いただけるよう、スタッフ一同、全力でサポートさせていただきます。

	月	火	水	木	金	土
午後	石川	-	-	-	-	-

■専門外来 午後は14:00～16:30の受付です。  
完全予約制：地域連携室へご連絡ください。

くまそう HP  
- 消化器内科 -



社会医療法人  
**熊谷総合病院**



### 地域医療連携室

〒360-8567 埼玉県熊谷市中西4-5-1  
TEL:048-525-6779 (地域連携室直通)  
FAX:048-525-6769 (地域連携室直通)  
<https://www.kumasou.or.jp/>

# 新任常勤医のご紹介



## 整形外科

みうら まさたか

### 三浦 正敬

1年間の米国留学(University of California San Diego, Davis)を終えて戻ってきました。米国で得た経験を地域での診療に活かしていきたいと思っています。またよろしくお願ひいたします。



## 整形外科

たけうち りょうや

### 竹内 遼弥

整形外科2年目の竹内 遼弥と申します。昨年は千葉県の銚子にある旭中央病院で勤務していました。楽器・スポーツの経験を生かし、患者様に寄り添った医療を提供するよう努めます。未熟者ですが、当院の地域医療に貢献できるよう精一杯頑張ります。



## 整形外科

ばんどう りょう

### 坂東 燎

患者様一人一人に寄り添った医療を提供できるよう努めてまいります。



## 整形外科

まつざわ ゆかり

### 松沢 優香里

手のことで困ったことがありましたら一度受診していただけますと幸いです。できるだけお手伝いできるよう精進しますので、どうぞ宜しくお願い致します。



## 外科

ふりはた まこと

### 降旗 誠

北院長についていきます。



## 消化器内科

かやま しょうたい

### 華山 翔泰

自分は北部地域で初期研修を行っておりましたので、お世話になった地域に恩返しができるよう、丁寧な診療を心がけて行きたいです。よろしくお願ひいたします。



## 消化器内科

やまもと たいき

### 山本 大貴

自治医科大学附属さいたま医療センターシニアレジデントの山本大貴と申します。貴院にて、一般内科・消化器内科の診療を通じ、基本的診療能力と臨床判断力の向上に努めてまいりますので、ご指導のほどよろしくお願ひいたします。



## 消化器内科

いちかわ しゅんぺい

### 市川 峻平

これから1年間お世話になります。日々を皆様と楽しみながらお仕事をご一緒できればと思っています。

2026年4月から新しく就任された医師をご紹介します。  
略歴・専門分野についてはホームページの診療科・部署紹介をご確認ください。



## 内科・糖尿病内科

やまぎし ひろふみ

### 山岸 浩史

専門は糖尿病ですが地域で健康に安心して暮らせる為に内科医としてできることを考えるようにしています。社会とつながりを持ちながら、自分の足で歩き、自分の口から食べる。そんな毎日が当たり前になることを大切にしたいと思います。



## 循環器内科

いそだ とおる

### 磯田 徹

患者さんやスタッフから信頼を得られるよう精進します。



## 腎臓内科

もりもと こうた

### 森本 浩太

熊谷地域の腎臓領域の発展に貢献できるよう頑張ります。よろしくお願ひします！



## 呼吸器内科

うちだ よしたか

### 内田 義孝

今年度から呼吸器内科に赴任しました内田 義孝と申します。肺炎や肺癌といった呼吸器の疾患はもちろん気管支喘息やアレルギー疾患に地域の皆様のお役に立てるよう精一杯努めてまいりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。



## 放射線科

こざわ えいと

### 小澤 栄人

専門はMRIで、婦人科の画像診断が専門です。大学以外の常勤は30年ぶりになります。よろしくお願ひします。



## 泌尿器科

いはら たつや

### 井原 達矢

皆様の将来を見据えた、最新の泌尿器癌治療、排尿障害治療などを提供させていただきます。



## 産婦人科

かしわばら そういちろう

### 柏原 聡一郎

はじめまして、4月から着任いたしました、婦人科の柏原と申します。婦人科腹腔鏡手術を中心に修練してまいりました。早く皆様のお役に立てるよう頑張りたいと思います。



## 小児科

りゅうの

### 龍野 のぞみ

埼玉医科大学病院で小児科として研鑽を積み、妊娠出産を機に退職しました。現在2才の男の子の育児に奮闘する日々を過ごしています。これまでの経験をもとに、最新の知識をアップデートして患者さんご家族に寄り添った診療を心がけて参ります。ご指導よろしくお願ひいたします。

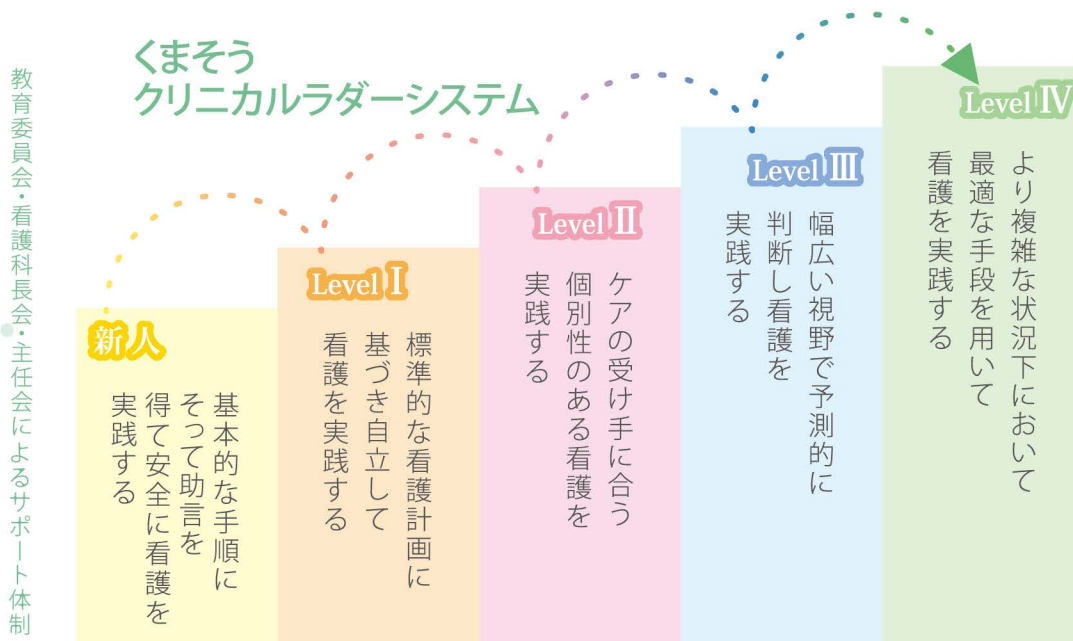
# 看護部教育委員会

看護部教委員長  
本館7階 病棟科長  
長谷川 裕美

看護部教育委員会は看護師の教育について研修などの企画・運営を行なっています。看護部の基本方針であるチーム医療で活躍できる人材の育成を目指しています。看護部の各部署より選出されたメンバーで構成しています。

## 看護教育ラダー

日本看護協会が提唱している看護教育ラダーに基づき経験年数毎にラダーの分類を行い、1年を通じて研修を企画しています。看護におけるクリニカルラダーとは看護師の「実践能力」を段階的に評価し、それぞれのレベルに応じた適切な教育や役割を明示するためのキャリア開発ツールです。看護師としての成熟度を「ハシゴ（ラダー）」を登ように、一段づつステップアップしていく仕組みのことです。



## ラダー新人の1年間

ラダー新人は看護師1年目が1年を通じて毎月1回勤務時間内に半日研修を実施しています。月毎にテーマを決めて集合研修を行なっています。看護技術はもちろん、自分の実施した看護について振り返り、一人一人の看護観を大切に育てる研修も行なっています。

### 新人看護師の一年間のスケジュール

4	5	6	7	8	9
オリエンテーション 技術演習	フィジカル アセスメントⅠ・ インフォームドコンセント	静脈注射の実施基準 ハイリスク薬管理	褥瘡予防・輸血 多重課題の対応	救急救命ABC RRSについて	アサーション メンタルヘルス
		3ヶ月目のフォロー			半年目のフォロー
10	11	12	1	2	3
緩和ケア ストーリー管理	ポートフォリオ 症例検討	クリスマス研修	切れ目のない看護 メンバーシップ	フィジカル アセスメントⅡ	気になる症例発表会
		9カ月目のフォロー			12カ月目のフォロー

## 新人看護師のサポート

当院では新人看護師のサポートにプリセプターシップをとっています。経験豊富な先輩看護師がマンツーマンで実務教育を行う教育体制をとっています。教える側のプリセプター看護師には、支援する方法などの研修を実施しており、指導する側も自己の看護技術や疾患について再度振り返ることにより成長できる機会となっています。



入職時研修「キャリアデザイン」の様子



先輩看護師との実務教育の様子

## ラダー I

ラダー I は看護師2年目のスタッフが対象となり研修を実施しています。

1年目の研修の基礎を習得したのち、より専門的な内容の研修を実施しています。こちら毎月1回時間内に集合研修を行なっています。

2年目ではケーススタディーを行い、院内で発表を行います。ケーススタディーは一人の患者さん（またはその家族）との関わりを振り返り、提供した看護実践の意味を客観的に分析して、その成果や課題を明らかにします。

プロセスを深く掘り下げ、看護の専門性を言語化しまとめます。



ラダー I の様子



ラダー研修の様子

当院のラダー制度は  
看護師の経験年数や  
スキルに合わせて成長  
できるプログラムで  
日々進化する医療の現場で  
対応し、学習して成長する  
看護師をサポートし  
続けています！

# 初期研修医のご紹介



患者さんの気持ちになって日々がんばります！ どうぞよろしくお願いいたします。



きのした ゆうき  
**木下 裕貴**

研修医1年目、木下 裕貴です。至らぬ点も多いと思いますが、自分にできること一つひとつに全力で取り組みます。一日も早く熊谷総合病院に貢献できるよう努力いたしますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



みはら ゆきえ  
**美原 幸恵**

学生時代は趣味の格闘技を通して体力と継続力を培ってきました。初期研修医としての2年間では、持ち前の根性と体力を活かしながら日々の学びを大切に、一つ一つ丁寧に向き合い、少しでも即戦力となれるよう努力してまいります。



たつき しゅん  
**田附 俊**

4月から初期研修医として勤務する田附 俊です。大学で所属していた水泳部で鍛えた体力とフットワークの軽さを活かし、全力で頑張ります。コミュニケーションを大切に、学びを深めながら成長したいと考えております。患者さんに寄り添い、いち早く仕事を覚えられるよう努めます。



にしかわ りょうや  
**西川 僚哉**

熊谷総合病院に研修医として入職しました、西川 僚哉と申します。学生時代はラグビーに打ち込み体力と精神力を磨いてまいりました。このバイタリティーを活かし、1日も早く現場に貢献できるよう誠心誠意努力いたします。これからもよろしくお願いいたします。



わかばやし ふみや  
**若林 郁弥**

はじめまして、秋田大学からまいりました、若林 郁弥です。まだ熊谷に来て間もないですが、ランニングの捗りそうな町並みがとても気に入っています。なるべく早くお役に立てるように頑張りますのでご指導よろしくお願いいたします。



はぎわら ゆう  
**萩原 優**

新年度より研修医としてお世話になります萩原 優です。出身は愛知県です。まだまだ至らぬ点も多いですが、信頼される医師となれるよう頑張ります。よろしくお願いいたします。





獨協医科大学埼玉医療センター 救急医療科教授 松島久雄先生を講師にお招きし市民公開講座を開催いたしました。急病者を発見した際に私たちがとるべき行動や救急隊に伝えるポイントなどをわかりやすく市民むけに講演をいただきました。参加者は62名でした。以前経験した事例などを振り返り質問がされるなど、関心の高いテーマとなりました。



12/10.11 新人フォローアップ研修

2日間に渡り、9か月ぶりに同期入職した仲間との再開を果たしました。臨床の場で印象に残った事、感動した事など笑顔で元気に語り合いました。



12/13 2025年度 第2回 緩和ケア研修会

他院の研修医2名を含む計16名が、グループ演習、ロールプレイなどで緩和ケアの基本を学びました。朝から晩まで皆様お疲れ様でした。



12/18 2025年度 安全運転講習会

トヨタレンタリース新埼玉の菅原様を招き、安全運転講習会を開催しました。業務中の運転に潜む危険性とその対処法への理解を深めました。



1/8.22 2026 インターンシップ 看護部

2日間で16名の参加がありました。看護部長から病院の紹介の後、病棟での看護体験（シャドーイング）を実施してもらいました。



1/25 2026年 熊谷市自治会連合会 健康増進事業  
健康講演会

循環器内科 猪俣 純一郎医師、整形外科 今野 慎医師が健康講座を行いました。約80名の方に参加いただき、健康管理や適切な治療について講演いたしました。



1/30 熊谷市中西自治会連合会 企画：鈴木 國昭 様  
糖尿病 怖いのは合併症

患者さんの遺志を胸に地域で糖尿病講座を開催しました。笑顔と気づきが広がり、温かな交流の場となりました。



2/21 くまそう市民公開講座-2026-  
ACP講演会

外科 平山信男医師が、当院作成の「私の心づもり」を使って、ACP人生会議のやり方について講演致しました。自分の生き方を語る交流の場となりました。



3/1 日本救急医学会認定  
熊谷総合病院ICLSコース

医療従事者対象のトレーニングコースです。院内外から受講生・指導者が集まり9回目の開催となりました。地域医療支援病院として、地域の医療の質向上のために精進して参ります。



3/10 くまそう地域医療連携セミナー -2026-  
よくわかる敗血症と救急集中治療研究の最前線

中田孝明氏（千葉大学病院 副病院長）を迎え、敗血症の理解と救急・集中治療の最前線について解説が行われました。

講演では重症感染症の一つである敗血症の仕組みや早期発見の重要性、救急医療の現場で進められている研究について分かりやすく紹介されました。参加者は講演に熱心に耳を傾け、地域医療に対する自院の役割を再確認いたしました。





3/16

## 令和7年度 臨床研修管理委員会 2年次研修医修了式

2年次研修医の研修修了証の授与式が行われました。新たな環境でも、緊張感と責任感をもって頑張ってもらいたいと思います。



3/30

## 第1回 熊谷市医ケアキッズ 連絡会合同イベント @立正大学

熊谷市内の医療的ケア児・重症心身障害児を対象に利用児童が普段味わうことのできない経験を通して楽しさや喜びを味わう機会を作ることができました。



4/1.2.3.4

## 2026年度 入職式・オリエンテーション

地域のみなさまの支えとなるべく入職した新卒の仲間たちです。よろしくお願い致します！

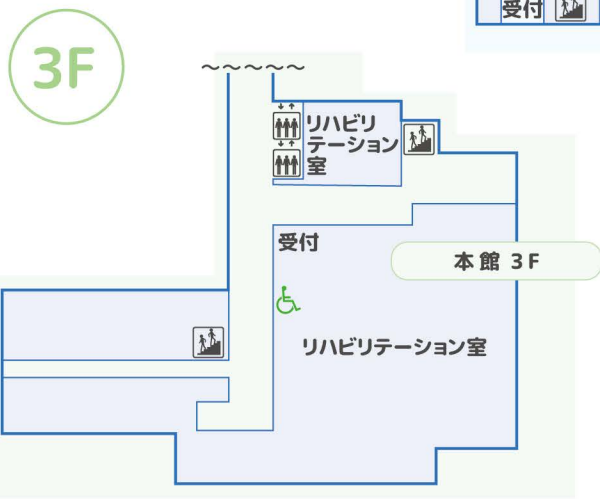
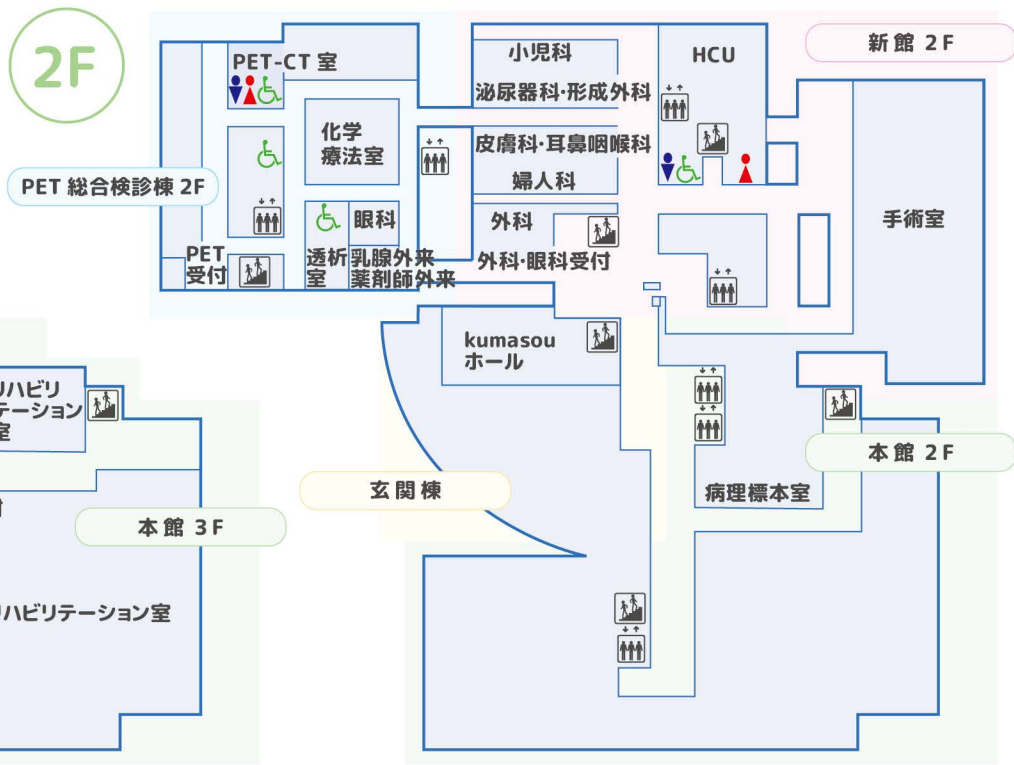
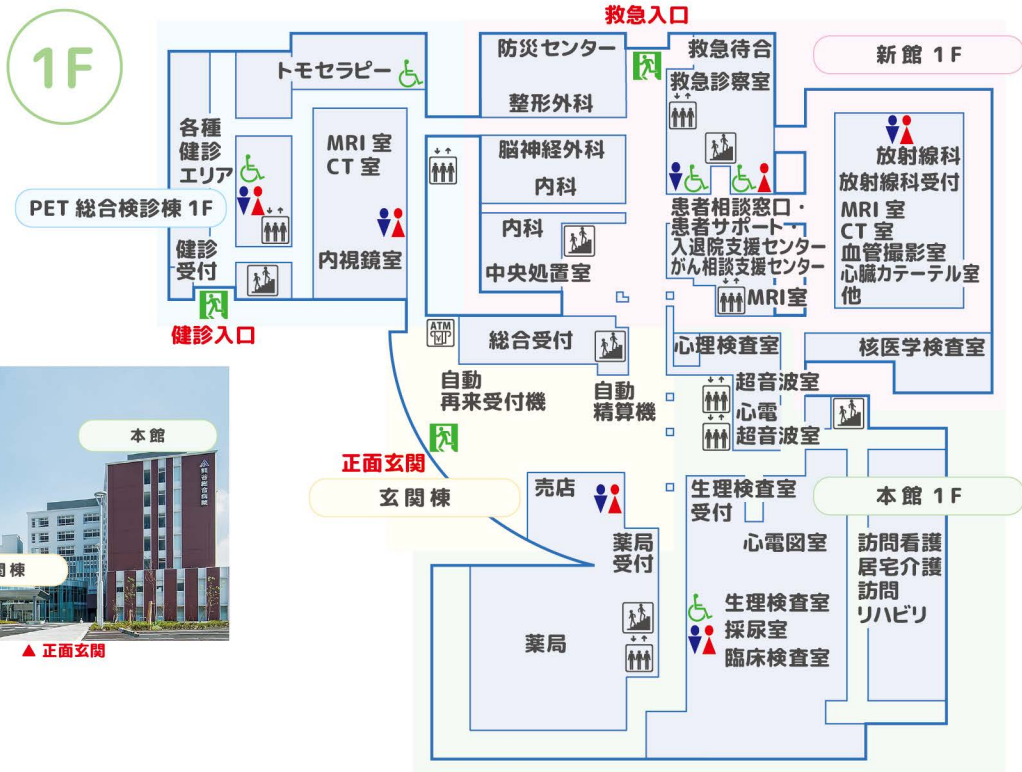


2025.4  
~  
2026.3

## 2025年度 くまそうQI（クリニカルインディケーター）

	25年										26年		
	04月	05月	06月	07月	08月	09月	10月	11月	12月	01月	02月	03月	
紹介初診数	692	750	743	820	671	765	833	751	692	786	646	761	
紹介率	67%	67%	70%	70%	61%	70%	72%	67%	64%	66%	64%	68%	
逆紹介率	102%	92%	93%	96%	89%	89%	97%	88%	94%	84%	97%	97%	
救急搬送件数	327	310	380	373	387	397	372	435	431	410	391	384	
うち小児科	21	23	21	23	18	22	23	34	40	29	18	29	
平均在院日数	13.9	13.2	12.7	12.5	12.8	12.7	12.9	12.5	12.1	12.2	12.7	12.9	
手術件数(手術室)	219	236	270	295	250	271	276	253	295	279	249	288	
病床稼働率	94%	86%	97%	100%	91%	96%	97%	95%	98%	99%	102%	97%	

くまそう  
院内マップ  
1F~3F



病院理念

わたくしたちは、この地に歴史をきざむ熊谷総合病院に勤める医療人です。  
わたくしたちは、この地にふさわしい専門的視野と未来への展望に立って、ここに新生熊谷総合病院の病院理念を制定いたします。

- 一、わたくしたちは地域の一員として、すべての患者さんを心あたたかく迎え入れます。
- 一、わたくしたちは地域の医療を常に高く保つため、みずから進んで学習します。
- 一、わたくしたちは地域の未来をになう若き医療人の育成に励みます。
- 一、わたくしたちは地域の必要に応える最新医療を提供し続けます。

そしてわたくしたちは地域のあらゆる機関と協力して世界に誇れる病診連携をこの地、熊谷に築きあげます。



日本医療機能評価機構  
認定第JC211号  
機能種別版評価項目  
(3rdG:Ver2.0 一般病院 2)



〒360-8567 埼玉県 熊谷市 中西 4-5-1

TEL : 0570-099-080 (ナビダイヤル)  
FAX : 048-523-5928 (代)  
<https://www.kumasou.or.jp/>



くまそうHP



LINE友、インスタ友 募集中!!

